

令和7年4月16日

予算決算文教厚生分科会 会長報告

本分科会に分担された案件は、次の通り、議案7件です。

件名		表決の状況
議案第21号	令和6年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第6号) 〔歳入、歳出の民生費・衛生費のうち保健衛生費・教育費〕	原案可決
議案第22号	令和6年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第23号	令和6年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第25号	令和7年度埼玉県和光市一般会計予算 〔歳入、歳出の民生費・衛生費のうち保健衛生費・教育費〕	原案可決
議案第26号	令和7年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第27号	令和7年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	令和7年度埼玉県和光市介護保険特別会計予算	原案可決

【本日の報告】本日は、予算決算文教厚生分科会に分担された議案のうち、令和6年度の補正予算と令和7年度の予算審査の中から質疑と答弁をいくつか御紹介して、分科会長報告とさせていただきます。

●議案第21号 令和6年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第6号)

主な質疑と答弁

委員 午王山遺跡の用地は取得したのか、取得したのであれば何㎡取得したのか伺う。

答弁 用地取得はできており、平米数が約1,383㎡となっております。

委員 中央公民館でも、1,496万円の入札差金ということだが、こういった大きな差金が出る要因を伺う。

答弁 令和6年6月の入札において落札した金額が安価になったということです。

委員 国家賠償請求の訴えの提起のところで、訴訟が4,720万円で、今回その手数料として16万4,000円となっているのは、どういう算出になっているのか伺う。

答弁 訴状に付ける収入印紙代になりまして、訴訟の価格によって金額が決まります。今回4,720万円という金額でしたので、収入印紙代が16万4,000円かかっているということになります。

委員 保育園について、昨今までは待機児童ゼロで動いていたが、少子化に入って、和光市の保育園の傾向はどのようなになっているのか伺う。

答弁 12月1日現在の在園児数、入所率は97%でほぼ充足している状況になっています。

●議案第22号、令和6年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

主な質疑と答弁

委員 特定健康診査で、今回から新しい業者に代わり、アンケートではどのような回答があったのか伺う。

答弁 全般的には大変よくなったというような御意見が多く聞かれております。いただいた意見で悪かったものについては、即時対応が可能なものは対応を、今後また改善を

図っていきたいと思っております。

●議案第23号、令和6年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第3号)

主な質疑と答弁

委員 その他一般会計繰入金として2億1,022万2,000円が計上されているが、こちらの内訳を伺う。

答弁 市町村特別給付費の部分が22万2,000円になりまして、支払月の期ずれの関係が2億1,000万円になります。

委員 介護給付費準備基金繰入金は、期ずれに伴って基金の残高が減る中で、繰入れするという趣旨で支出されているという理解でよろしいか伺う。

答弁 期ずれの関係は9,285万6,000円になり、今回歳出のほうの見直しを行い、その中で、負担金等の対象となる保険給付費で1,576万7,000円を減額しており、それが相殺されて、今回7,652万3,000円となっております。

委員 減額された部分が、1,576万円相当だが、どこをどのように削減されたのか伺う。

答弁 介護サービス費で減額になったものと増額になったものが入り組んでおります。減額になったサービス費が、居宅介護サービス費と地域密着型介護サービス保険給付、居宅介護サービス計画給付と地域密着型介護予防サービス保険給付、それと介護予防サービス計画給付、あと高額介護等サービス給付、特定入所者介護等サービス給付です。逆に増額になっているのが施設介護サービス保険給付、それと介護予防サービス保険給付、介護予防福祉用具購入保険給付、介護予防住宅改修保険給付、審査支払業務、それと高額介護等予防サービス給付は増額になっております。そういった関係で増えているものと減っているものがございます。

委員 期ずれの部分について、まず前提として、1億2,000万円の平成16年度に足りなかった分を、その後、3億円に膨らんだ経緯と、始まりとしては平成16年度のもののだが、あくまでも、令和6年度の支出を行うという理解でよろしいか伺う。

答弁 行ったのは平成16年の1回なんですけど、それを翌年の平成17年度に補正し、次は平成18年度に補てんする、平成19年度に補てんするというのが続いてきてしまった

ため、今回必要なのは、令和6年度の1回分になります。

委員 特別会計でその給付を増やしてしまうと保険料に影響してしまうのではないかと考えるが、その点について伺う。

答弁 本来、介護保険特別会計については、介護保険適用者の方に負担していただくというのが原則になりますので、その分、今回2億1,000円繰り入れた分につきましては、第10期以降の保険料に上乗せして徴収させていただいた上で、一般会計にお返しさせていただくというふうに考えております。

●議案第25号、令和7年度埼玉県和光市一般会計予算

主な質疑と答弁

委員 民生・児童委員活動支援で予算が計上されているが、現在の充足率についてはどうなっているのか伺う。

答弁 民生・児童委員の定数92名のところ77名をお願いしてまして、率としては83.7%ということになっております。

委員 避難行動要支援者支援対策業務について、現在、要支援者名簿に登録されている人数について伺う。

答弁 登録いただいた全ての方に個別計画を立てていただいておりますので、879人ということになります。

委員 福祉の里管理運営の中で、前回、ロボットを導入するという予算があったと思うが、今、順調にこの運営の中で使われていて、その辺は見えてこられたのか伺う。

答弁 ロボットにつきましては、実際には利用者のベッドの下に設置し、その利用者の睡眠の状態とかが把握できるような器具になっておりまして、実際に、非常に介護者の負担が軽減されていると聞いております。

委員 ひとり親家庭について、令和6年度257人の父子、母子の比率について伺う。

答弁 母子家庭が241、父子家庭が15、養育者家庭が1という内訳になっております。

委員 特別支援学級はどこに新設するのか伺う。

答弁 まだ決定ではないが、広沢小学校を想定しています。

第五小には令和7年4月から自閉症・情緒の特別支援学級が新設される予定です。

●議案第26号、令和7年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計予算

主な質疑と答弁

委員 令和6年度の健診の受診状況で、令和7年度はそれより伸びる見通しなのかどうか伺う。

答弁 令和5年度の数字46.3%に対して、2月27日現在の速報値、45.3%という数字になっており、横ばいの状態でございます。受診を高めていくための働きかけはしていきたいと思うのですが、なかなか厳しい状況になっております。

委員 高額療養費について、国のほうでその上限額が上がるが、それはまだ反映されていないのか伺う。

答弁 その議論が始まった時点でもう予算の推計を始めているということと、現在でもはっきりしていないところがあるので、そちらの影響は今見込めていない状態にはなっております。

●議案第28号、令和7年度埼玉県和光市介護保険特別会計予算

主な質疑と答弁

委員 介護認定審査業務について、報酬が20人と計上されているが、今、何人でこの仕事をやっているのか伺う。

答弁 医師が6人、歯科医師が2人、薬剤師が1人、看護師が4人、保健師が2人、介護福祉士が6人。5人で4つのチームを編成しております。

委員 健康増進・介護者リフレッシュは、令和5年度で何人の方が利用されているか伺う。

答弁 申請者数は1,890名で、利用件数は7,865件となっております。

以上、御報告いたしました。審査の主な内容については、分科会記録を御参照ください。